

サブドレン他水処理施設の運用状況等

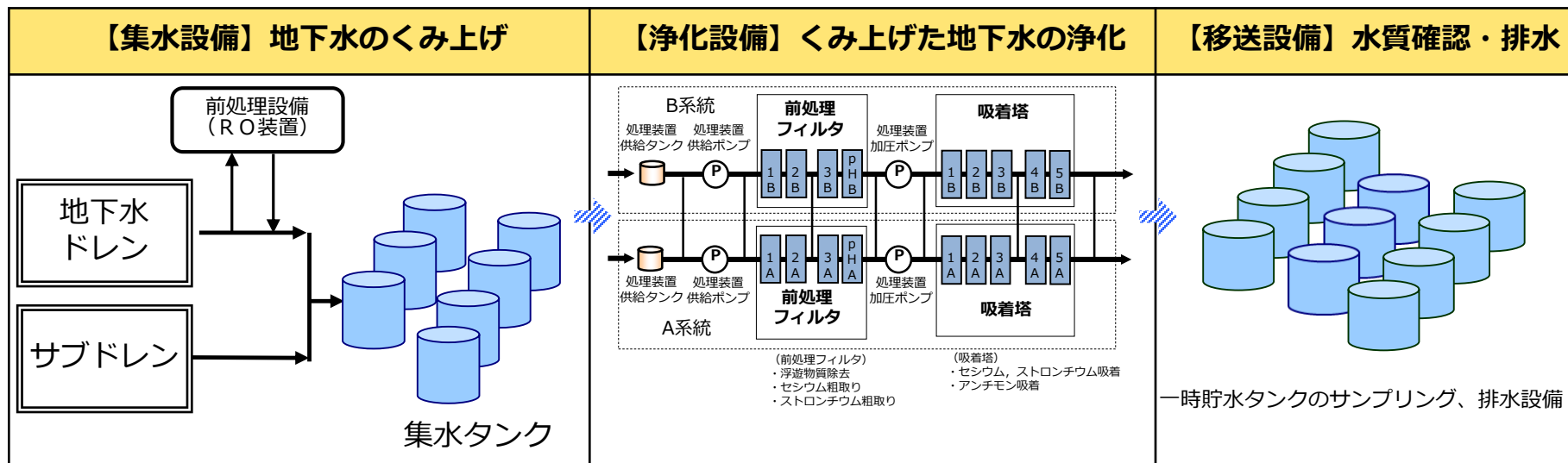


2026年 7月 2日

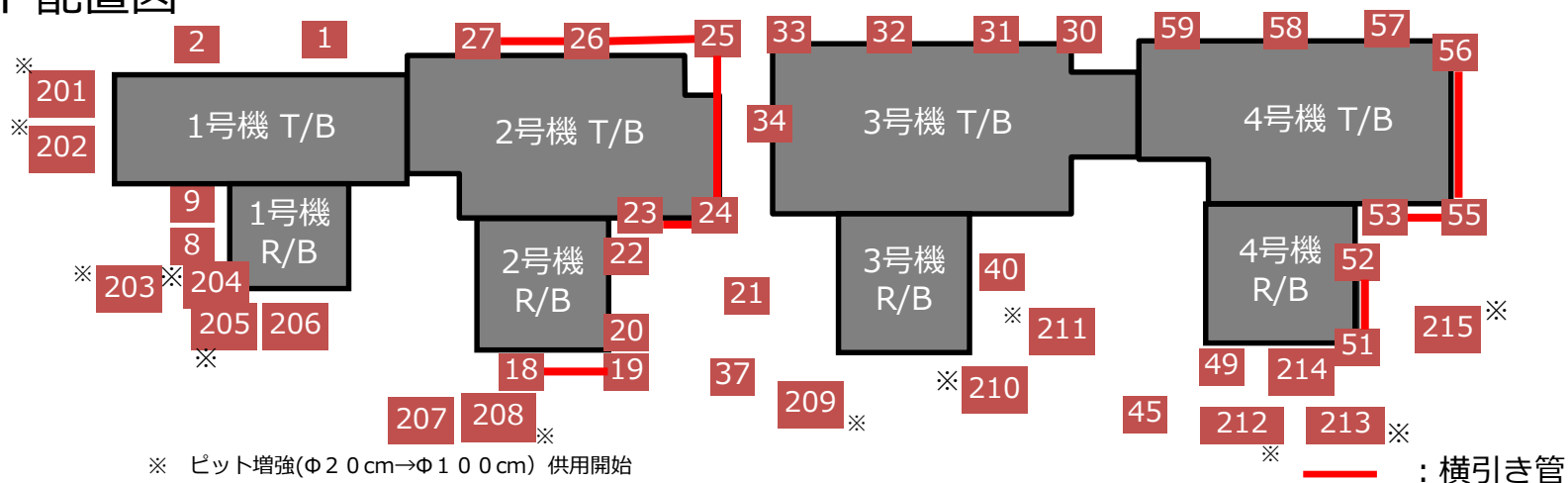
東京電力ホールディングス株式会社

1-1. サブドレン他水処理施設の概要

・設備構成

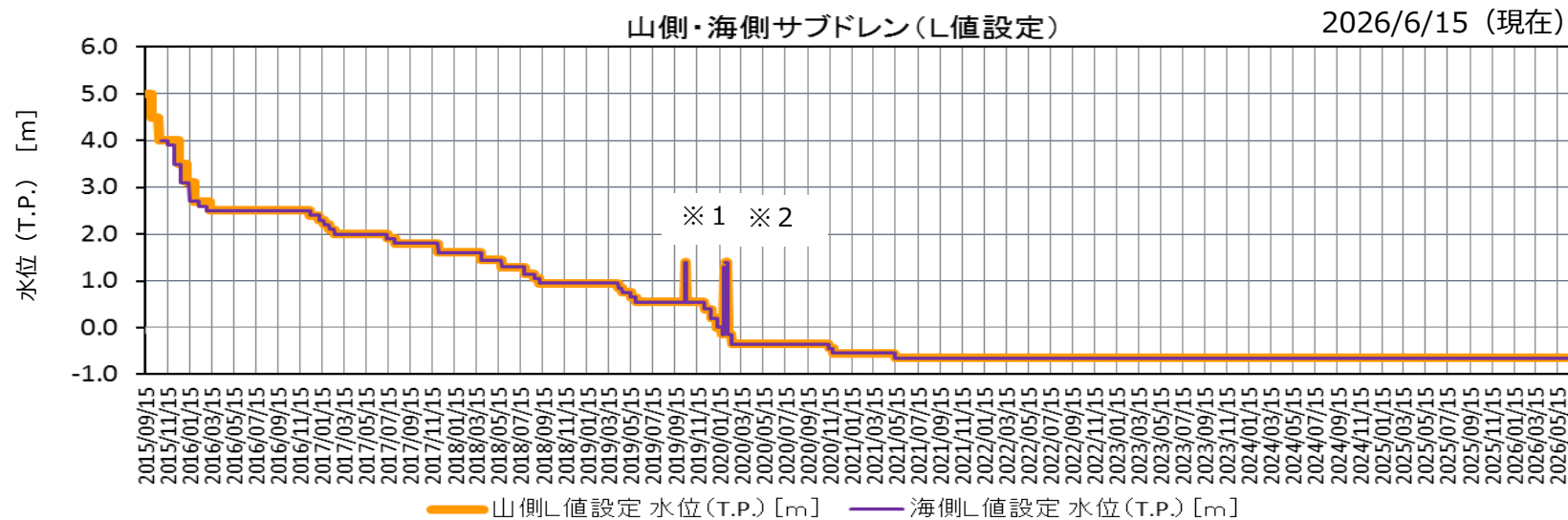


・ピット配置図



1-2. サブドレンの運転状況（24時間運転）

- 山側サブドレン設定水位のL値をT.P.+5,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年9月17日～、L値設定：2021年5月13日～T.P.-650mmで稼働中。
- 海側サブドレンL値をT.P.+4,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年10月30日～、L値設定：2021年5月13日～T.P.-650mmで稼働中。
- サブドレンピットNo.30,37,57を復旧し、2018年12月26日より運転開始。No.49ピットは復旧後、2020年10月9日より運転開始。
- サブドレンピットNo.21は、2号機燃料取り出し構台の設置工事に干渉するため、移設を行い、2022年10月7日より稼働を開始した。
- サブドレンNo.40ピットにて2022年4月21日に油分（低濃度PCB含有：0.56mg/kg）をうけ、周辺ピット（No.40,210,211ピット）の停止及び油分拡散抑制として、鋼矢板の設置等を行い、2023年10月2日よりNo.210,211ピットを再稼働し、2023年11月8日から連続運転に移行した。
- その他トピックス
 - ・特になし



※1 台風19号対応として10月12～15日の間、一時的に全ピットのL値をT.P.1400mmに変更した。

※2 1月の大雨に備えて基本のL値をT.P.1300mmとし、2月7日に水位設定値を元に戻した（L値:T.P.-0.15 m）

1-3. 至近の排水実績

- サブドレン他水処理設備においては、2015年9月14日に排水を開始し、2026年6月24日までに2,944回目の排水を完了。
- 一時貯水タンクの水質はいずれも運用目標（Cs134=1, Cs137=1, 全β=3, H3=1,500(Bq/L)）を満足している。

排水日		6/18	6/19	6/21	6/22	6/23
一時貯水タンクNo.		J	H	K	L	A
浄化後の水質 (Bq/L)	試料採取日	6/13	6/14	6/4	6/7	6/17
	Cs-134	ND(0.73)	ND(0.79)	ND(0.71)	ND(0.82)	ND(0.84)
	Cs-137	ND(0.60)	ND(0.90)	ND(0.75)	ND(0.67)	ND(0.71)
	全β	ND(1.8)	ND(1.8)	ND(2.0)	ND(1.9)	ND(0.65)
	H-3	370	360	500	320	520
排水量 (m ³)		1,008	613	834	1,009	1,011
浄化前の水質 (Bq/L)	試料採取日	6/11	6/12	6/2	6/5	6/15
	Cs-134	ND(4.2)	ND(4.4)	ND(4.1)	ND(5.0)	ND(5.6)
	Cs-137	92	110	130	50	150
	全β	—	—	370	—	450
	H-3	380	470	530	290	550

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

* 浄化前水質における全ベータ分析については、浄化設備の浄化性能把握のため週一回サンプリングを実施。

【参考】 1/2号機排気筒周辺サブドレンピットの水質

2019/2/6地改良完了

2018/11/6地盤改良完了

